

1. 社会科を学ぶねらい

- 地理 地図やさまざまな資料を参考にして、日本の自然環境や人口、産業、諸地域の特色、特色と地域にみられる課題との関係をとらえグローバル化の国際社会の未来を築く力をつける。
- 歴史 歴史上の用語・年代・人物などの知識をもとに、歴史の大きな流れと各時代の特色を理解し学ぶことで、現在の社会を考え、未来を築く力をつける。

2. 学習方法

- 地理 教科書、資料集、ワークシート等を利用し、グラフや地図を読み取ることにより、知識を広げるだけでなく、考える力、判断する力を伸ばすことができます。日々の予習や復習、そしてテスト前にはワークなどの課題に取り組み、テストに臨みましょう。
- 歴史 歴史の学習で大切なことは、時代の流れをつかむことです。その際には、歴史の重要語句に注目するとよいでしょう。家庭では予習や復習、学習内容を教科書で確認して定着させましょう。

3. 持ち物、忘れものなどについて

- 地理 教科書、地図帳、ファイル（プリントをとじる）、問題集、白地図、など
- 歴史 教科書、資料集、ノート（プリントなどもはる）、問題集、など

4. 観点別評価の記述

①「知識・技能」

課題を追究したり、解決したりする活動を通して、基本的な内容を理解している。

【授業での学習活動、定期考査、小テスト、問題集、ワークシートなど】

②「思考・判断・表現」

時期や年代、推移、現在の私たちとのつながり、地域的な特色、世界とのつながりなどに着目して、歴史上の人物や文化財、出来事、地域的な特徴、世界とのつながりなどから、いろいろな関わりなどについて、多角的・多面的に考察し、表現している。

【授業での学習活動、定期考査、小テスト、問題集、ワークシートなど】

③「主体的に学習に取り組む態度」

歴史の学習活動や地理の学習を通して、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。また、あきらめず粘り強く学習課題に取り組んでいる。

【授業での学習活動、小テスト、問題集、ワークシートなど】

5. 先生からのアドバイス

教科書の内容を定着させることが大切です。そのためには、日々の予習や復習を意識して、学習に取り組みましょう。社会科は他の教科と比べて多くの知識を必要とする教科です。しかし、ただ丸暗記すればよいというものでもなく、一つ一つのことがらの背後にある社会科的な原理・原則を理解することと、大きな流れを理解した上で、重要な知識を身に付けることが大切です。

また、与えられた資料からものごとを判断する力を養うことも重要です。統計や資料・地図などの資料からさまざまなことがらを考える力をつけることが求められます。新聞やテレビのニュースなどを見て、国内外の動きに注意を向けることも重要だといえます。

6. 社会科 年間学習計画

学期	月	単元名・学習内容	学 習 の 目 標	評価方法
1	4	[地理的分野] 日本の地域的特色		
	6	日本の諸地域		
2	9	九州	・日本の諸地域について、各地方に暮らす人々の生活の様子を的確に把握できる地理的事象を取り上げ、それをもとに主題を設けて、それぞれの地方の地域的特色を理解する。	授業での学習活動 定期考査 課題学習 発表 ワークブック ワークシート 小テスト など
	10	中国・四国		
	11	近畿		
	12	中部		
3	1	関東		
		東北		
	3	北海道		
		↓ 地域の在り方	地域をよりよくしていくために、地理的な見方考え方を働かせて地域をとらえ、発展させていく力を身につける。	
1	4	[歴史的分野] 近世の日本と世界	・江戸幕府の政治のしくみや人々の生活・文化について理解する。	
	5			
	7	日本の近代化と国際社会	・17世紀から19世紀にかけての世界の動きとともに江戸時代から明治時代に至る過程を理解する。	
2	9		・明治時代の日本の近代化と、そのことによる日本と世界との関わりや国民生活の変化について理解する。	
	11			
3	2			

